



ピアツーピア クライアント サポート

- [ピアツーピア クライアント サポートについて \(1 ページ\)](#)
- [ピアツーピア クライアント サポートの設定 \(1 ページ\)](#)

ピアツーピア クライアント サポートについて

ピアツーピア クライアント サポートは個別の WLAN に適用でき、各クライアントがアソシエート先の WLAN のピアツーピア ブロッキング設定を継承します。ピアツーピア クライアント サポート機能を使用すると、トラフィックの送信方法を細かく制御できます。たとえば、トラフィックをデバイス内でローカルにブリッジしたり、デバイスによってドロップしたり、アップストリーム VLAN に転送したりするように指定できます。

ローカル スイッチングの WLAN にアソシエートしたクライアントに対して、ピアツーピア ブロッキングはサポートされています。

制約事項

- ピアツーピア ブロッキングは、マルチキャスト トラフィックには適用されません。
- ピアツーピア ブロッキングは、デフォルトでは有効になっていません。
- FlexConnect では、特定の FlexConnect AP または一部の AP のみにピアツーピア ブロッキング設定を適用することはできません。SSID をブロードキャストするすべての FlexConnect AP に適用されます。
- 中央スイッチングのクライアントに対応する統合ソリューションではピアツーピア アップストリーム転送がサポートされます。ただし、FlexConnect ソリューションではサポートされておらず、ピアツーピア ドロップとして処理されてクライアント パケットがドロップされます。

ピアツーピア クライアント サポートの設定

ピアツーピア クライアント サポートを設定するには、次の手順に従います。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	wlan profile-name 例 : Device(config)# wlan wlan1	WLAN コンフィギュレーション サブ モードを開始します。 <i>profile-name</i> は設定されている WLAN のプロファイル名です。
ステップ 3	peer-blocking [drop forward-upstream] 例 : Device(config-wlan)# peer-blocking drop	ピアツーピア ブロッキング パラメータを設定します。 drop : ドロップ アクションのピアツーピア ブロッキングをイネーブルにします。 forward-upstream : アップストリーム転送処理のピアツーピア ブロッキングをイネーブルにします。
ステップ 4	end 例 : Device(config)# end	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	show wlan id wlan-id 例 : Device# show wlan id 12	選択した WLAN の詳細を表示します。